

施策分析シート（平成27年度）

No1

施策名	総合的な交通体系の整備	施策No	12-03	部課名	防災都市づくり部交通対策課		
				課長名	平野 内線 2720		
関連部課名	福祉部障害者福祉課						
行政評価事業体系	分野	VI	安全安心都市				
	政策	12	利便性の高い都市基盤の整備				
目的	公共交通機関の充実を図ると共に、交通不便地域における高齢者や障がい者の移動の利便性向上を推進する。						
指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		24年度	25年度	26年度			
	① 交通利便性	-	3.86	3.84	お住まいの地域は交通の便が良いと感じますか？		
	② 生活環境の充実	-	3.21	3.13	お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？		
	③						
④							
標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		24年度	25年度	26年度	27年度見込み		目標値(28年度)
	① コミュニティバスの乗車人員(人)	2,963	3,287	3,367	3,700	4,650	一日あたり
	②						
	③						
	④						
⑤							
現状と課題(指標分析)	<p>○区内の公共交通網は、JR線、京成線、地下鉄、都電荒川線、都バス、つくばEX、日暮里・舎人ライナーに加えて、コミュニティバス「さくら」と充実が図られている。</p> <p>○日暮里駅は、日暮里・成田空港間を36分で結ぶ成田スカイアクセスの開業により、世界の玄関口となる交通結節点として、その役割は飛躍的に高まっている。</p> <p>○平成27年3月には、上野東京ラインの開業により、「南千住」「三河島」「日暮里」の区内三駅に停車するJR常磐線の品川駅までの直通運転が実施されている。</p> <p>○平成27年度には、「町屋さくら」の一部往復運行や「さくら」の双方向運行とともに、「汐入さくら」の車両中型化を実施し、コミュニティバスの既存路線の見直しを図った。</p>						
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>○平成27年度に実施したコミュニティバスの既存路線の見直しに対する効果を検証し、利用者への更なるサービス向上を図っていく。</p>						

施策の分類		分類についての説明・意見等
27年度	28年度	
重点的に推進	推進	既存路線の見直しに対する効果の検証や利用者への更なるサービス向上により、より良いコミュニティバスを目指す必要がある。

施策を構成する事務事業の分類						
事務事業名	事務事業 No	決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		25年度	26年度	27年度	28年度	
日暮里駅総合改善事業	10-03-02	-	-	継続	継続	日暮里駅整備(株)の適切な運営に関する調整を行う。
コミュニティバスの利用促進	10-03-03	2,615	15,059	重点的に推進	推進	既存路線の見直しに対する効果の検証や利用者への更なるサービス向上により、より良いコミュニティバスを目指す必要がある。
つくばエクスプレスの利用促進	10-03-04	50	774	継続	継続	沿線地区の活性化のために利用促進を図る必要がある。
合 計		2,665	15,833			